

地域の先生にとって「頼れる呼吸器内科」であるためのミッション

2023年5月29日

※本コンテンツは、医師の方を対象とし、当医療機関についての理解を深めていただけるよう作成しているものであり、一般の方を対象とする宣伝・広告等を目的としたものではありません。

横浜労災病院 呼吸器内科の責任医師を務めております伊藤 優(いとう まさる)です。

日本では今後、超高齢化社会の中で「繰り返す高齢者肺炎、間質性肺炎、非結核性抗酸菌症、長期生存肺がん症例」などが増加すると考えられます。

そのような中で、横浜労災病院呼吸器内科は、開業医の先生方にとって呼吸器診療に困ったら急性期～慢性期疾患まで幅広く紹介できる「頼れる存在」を目指しています。

本日は当科の体制・ミッションから具体的な取り組みまでご紹介します。是非最後までご覧いただけますと幸いです。



伊藤 優

呼吸器センター長 呼吸器内科部長

呼吸器診療で困ったら『とりあえず横浜労災に紹介』を目指して

当科のミッションと基本姿勢

以下は当科のミッションとして掲げているものの一部ですが、とくに重要視しているものです。

行動規範

- ・ 医師および社会人としての良識と責任感を持つ

コアバリュー

- ・ 基幹病院に相応する呼吸器疾患の専門的診療を患者個々に応じて、適切に選択し、安全かつ遅滞なく提供する

社会連携

- ・ 地域連携を推進し、地域全体で慢性呼吸器疾患の管理を行う

基幹病院や大学病院の中には、呼吸器内科の特定の領域の専門性を高め、それを強みとしている施設もありますが、当院はあえて特色を持たずに呼吸器疾患全般に対応することで、上述のミッション2と3の達成を目指しています。

呼吸器診療で困ったら、地域の先生方から『とりあえず横浜労災に紹介』を頂けることがごく普通に行われていることが理想的な姿だと考えています。労災病院という名前から、いまだに職業関連呼吸器疾患以外はあまり診てくれないのではないかという誤解をされている地域の方々もいらっしゃいますが、当院は通常の一般呼吸器診療を提供する地域中核病院の1つです。

ハイレベルな呼吸器疾患治療を提供できる体制

呼吸器内科 スタッフ紹介

伊藤 優
(呼吸器センター長
呼吸器内科部長)

専門分野：呼吸器内科学
学会専門医・認定医：
日本内科学会 総合内科専門医・指導医
日本呼吸器学会 呼吸器専門医・指導医
日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡専門医・指導医
日本アレルギー学会 アレルギー専門医
日本喘息学会 喘息専門医
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
日本化学療法学会 抗菌化学療法指導医
日本結核・非結核性抗酸菌症学会 結核・抗酸菌症認定医
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会 呼吸ケア指導士（初級）

石井 宏志
(呼吸器内科副部長)

専門分野：呼吸器内科学
学会専門医・認定医：
日本内科学会 総合内科専門医
日本呼吸器学会 呼吸器専門医

逸見 優里 (医師)

専門分野：呼吸器内科学

江口 晃平 (医師)

専門分野：呼吸器内科学

松本 幸子 (医師)

専門分野：呼吸器内科学

庄内 志織 (医師)

専門分野：呼吸器内科学

吉見 聡 (医師)

専門分野：呼吸器内科学

アスベスト疾患ブロックセンター スタッフ紹介

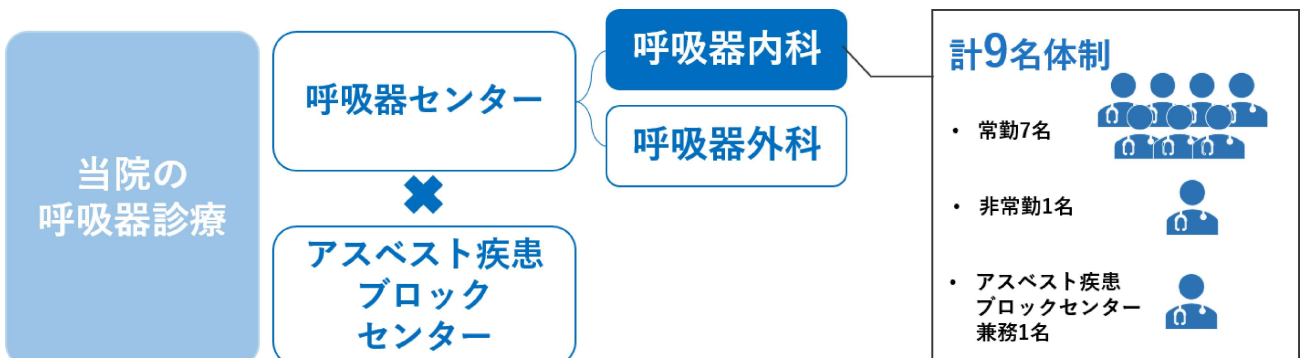
小澤 聡子
(アスベスト疾患
ブロックセンター長)

専門分野：呼吸器内科学
学会専門医・認定医：
日本内科学会 総合内科専門医・指導医
日本呼吸器学会 呼吸器専門医・指導医
日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡専門医・指導医
日本アレルギー学会 アレルギー専門医
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
日本化学療法学会 抗菌化学療法認定医
日本結核・非結核性抗酸菌症学会 結核・抗酸菌認定医
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会 呼吸ケア指導士（初級）
日本職業・災害医学会 労災補償指導医

横浜労災病院は、横浜市北東部地域中核病院としての役割を持つ急性期病院です。当院の呼吸器診療の特徴の1つは、呼吸器センターとアスベスト疾患ブロックセンターの2つのセンターが共同・一体化して、診療にあたっていることが挙げられます。

さらに、呼吸器センターは呼吸器内科と呼吸器外科の2科より構成され、同じ病棟と外来で働いており、緊密な関係の下で呼吸器疾患の医療連携を行っています。

呼吸器内科には現在7名の常勤医師と1名の非常勤医師が在籍し、アスベスト疾患ブロックセンター常勤医師1名とあわせて計9名で呼吸器内科領域の診療に励んでいます。



各診療科・診療部門、医療チームとの医療連携も緊密に行っております。

院内の各診療科・診療部門、医療チームとの連携

- ・ 感染管理室と連携した院内感染対策、COVID-19の診療
- ・ 肺癌に対する最適な診断と集学的治療の提供
- ・ 当院薬剤部および地域の保険薬局と連携した吸入療法支援体制の運用
- ・ 中央リハビリテーション部と連携した呼吸リハビリテーションの推進と普及
- ・ 院内呼吸ケアサポートチーム（RST）の一員としての活動

当科の診療実績

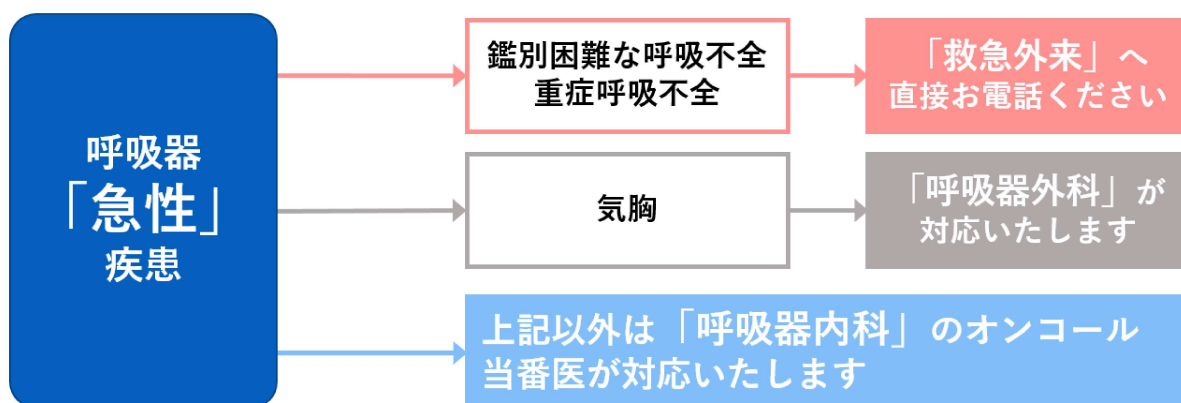
診療実績

項目	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
入院定床	27床	27床	27床	30床	30床
のべ入院患者数（年）	507人	455人	528人	603人	673人
外来患者数（日）	64.8人	62.9人	63.8人	56.5人	61.0人
気管支鏡検査数（年）	112件	132件	140件	120件	137件

呼吸器疾患のよろず相談所「急性期から慢性期疾患まで幅広く対応」

当院の呼吸器疾患の診療は、よろず相談所的に対応することを基本姿勢としています。呼吸器疾患あるいは呼吸器症状症例のご紹介は、急性期疾患であれば救急科もしくは当科、慢性期疾患であれば当科で対応する体制となっています（図1）。

図1



呼吸器疾患の精査・治療管理のご依頼はもとより、咳、痰、息切れ、胸の痛みといった症状の精査、在宅酸素療法導入や呼吸リハビリテーションの依頼等、お気軽にご相談を頂ければと思います。ただし、高感染性の活動性肺結核治療や睡眠時無呼吸症候群の診断・管理は対応しておりませんので例外です。

COVID19の対応を経て診療力が更に向上

最近の当科の状況

2020年2月以降のCOVID-19との対決の3年間は、当院の呼吸器診療にも当然のことながら多大なる負荷をもたらしましたが、とくに最初の2年はCOVID-19の入院症例を当科でほぼ一手に引き受けていましたので、たいへん厳しい状態でした。ただ、失ったものも少なくはないのですが、これまであまり経験したことがなかった純粋なウイルス性肺炎、呼吸管理法や感染管理の新知見等々、貴重な経験をすることで当科の診療力が上がったのも事実だと思っています。

現在はCOVID-19の対応も病院全体で対応することができるようになり、当科では今年度から停滞していた呼吸器診療の向上に向けた取り組みを本格的に再稼働しています。

私事ですが、今までの感染管理室副室長の立場に加えて、今年度から院内のがん診療運営委員会の委員長を拝命しました。これまで以上にがん診療に携わっていきたいと思っています。

今年度の重点取り組みリスト

- ☒ 肺癌診療の充実化
- ☒ 吸入療法支援ネットワークの再構築
- ☒ 感染症診療地域連携推進
- ☒ 地域講演会・連携会の開催

超高齢化社会の中で求められる地域医療の取組

日本はすでに超高齢社会に突入していること、そして医学の進歩や社会の変革による急激な変化が生じていることから、慢性呼吸器疾患の疾病構造に変化がみられてきています。この中で、おそらく今後着実に増えてくるのは、繰り返す高齢者肺炎、間質性肺炎、非結核性抗酸菌症、長期生存肺がん症例であると予測しています(図2)。

図2 慢性呼吸器疾患の代表対象疾患

	腫瘍性	非腫瘍性慢性疾患
下気道	原発性肺がん 転移性肺がん	気管支喘息 気管支拡張症
肺胞		COPD 繰り返す肺炎(誤嚥性) 非結核性抗酸菌症 慢性肺アスペルギルス症
間質		間質性肺炎
胸膜	胸膜中皮腫	慢性膿胸 (胸膜プラークは医学的所見)
その他	縦隔腫瘍	肺結核後遺症

地域で増加してくる慢性呼吸器疾患にどう対応するかミッション3は数年前から着手し、少しずつ進めていたところでしたが、COVID-19流行前に構築した土台も多くを失いましたので、今年度はまた一から作り直すことから始めてみたいと考えています。

増え続けている超高齢社会における慢性呼吸器疾患にどう対応していくか、悩みは尽きませんが、地域の皆様に今回ここで当院の考えをお披露目させて頂くことができましたことを再スタートの1歩としたいと思います。

地域の方へメッセージ

今年度は地域の先生方からのご依頼にたくさん応じられるように、制限していた外来新患紹介枠を増やし、当科のベッド数も少しですが増床してもらいました。ときどき、当科にご配慮を頂き、患者紹介を遠慮されている先生がいらっしゃることを耳にすることがありますが、当科の最大のミッションである地域の呼吸器診療にあまねく対応し、貢献することの実現には、地域の先生方からの患者紹介なしでは成しえないと考えています。どうか遠慮せず気軽に、症状が悪くなる前の方、疑い症状のある方など、早めに患者紹介していただけますと幸いです。



伊藤 優(いとう まさる)

呼吸器センター長 呼吸器内科部長

■卒業年次

平成4年

■専門分野

呼吸器内科学

■学会専門医・認定医

日本内科学会 総合内科専門医・指導医

日本呼吸器学会 呼吸器専門医・指導医

日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡専門医・指導医

日本アレルギー学会 アレルギー専門医
日本喘息学会 喘息専門医
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
日本化学療法学会 抗菌化学療法指導医
日本結核・非結核性抗酸菌症学会 結核・抗酸菌症認定医
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会 呼吸ケア指導士(初級)

お問い合わせ先



独立行政法人 労働者健康安全機構 横浜労災病院 地域医療連携室

TEL:045-474-8111 平日 8時15分～17時00分

FAX:045-474-8323

ホームページ:<https://yokohamah.johas.go.jp>